**産業応用フォーラム**

**「マトリックスコンバータの技術動向と応用」**

開催案内は，１ページ

以内に収めてください。

余白は変更しないで

ください。

**概要：**近年，マトリックスコンバータをはじめとする直接形交流電力変換回路の研究，開発が盛んに進められております。これら直接形交流電力変換回路は，直流リンク部にエネルギー蓄積要素を持たないことから小形化，高信頼性化，高効率化の可能性を秘めており，様々な分野への応用が期待されておりますが，入力の交流電圧波形から直接，出力電圧波形を発生するために，電源電圧利用率，入力電流波形，出力電圧電流波形，電源電圧不平衡率の許容度，瞬時停電時動作，ゲートブロック時の負荷電力処理，入力EMIフィルタなどについては従来の間接形交流電力変換回路とは本質的に異なった特性を有しております。本フォーラムは，以上のような直接形交流電力変換回路，特にマトリックスコンバータの(1)主回路方式，パワーデバイスとその駆動回路，(2)制御方式と解析技術，(3)高調波およびEMIの対策，(4)応用・実用化技術の観点から，その技術動向と応用についてまとめ，広く会員に提供するものです。「直接形交流電力変換回路の実用化と応用技術調査専門委員会」（設置期間：平成18年1月～平成19年12月）のメンバーを講師とし，同技術に関心のある技術者，研究者，学生等の皆様を広く対象として，最新の技術動向と応用を解説いたします。皆様のご参加を心よりお待ちいたしております。

オンラインのみの場合は

「Zoomによるオンライン開催」のように記載ください。

基本的にはタイトルのみを記入して下さい。フォーラムの性質を特に強調したい場合には、適宜追加してください（例えば、初心者向け技術講習会「テーマ」）

英数字のフォントは

Times New Roman

に統一してください。

**日時：**2020年●月●日（●）●: ●～●: ●

**会場：**電気学会　会議室およびZoomによるオンライン参加のハイブリッド開催

東京都千代田区五番町6-2　HOMAT HORIZONビル8階

地図のURLを入れてください。

JR総武線（中央線各駅停車）市ヶ谷駅下車，徒歩2分

○テキスト（技術報告等）をご使用にならない場合は，記載不要です。

○技術報告をテキストとしてご使用になる場合，販売価格の設定については，「産業応用フォーラム開催の手引き」をご参照ください。

TEL: 03-3221-7312

https://www.iee.jp/wp-content/uploads/honbu/31-doc-honb/map.pdf

----------------------------------------------------------------------------------------------------

**プログラム：**

1． 13:00－13:05　開会，主催者挨拶

参加費の設定については，「産業応用フォーラム開催の手引き」をご参照ください。

2． 13:05－13:30　総論 電気　太郎（電気学会）

3． 13:30－14:15　マトリックスコンバータの主回路方式，パワーデバイスとその駆動回路

電気　太郎（電気大学）

4． 14:15－15:00　マトリックスコンバータの制御方式と解析技術 電気　太郎（電気大学）  
　　　　 休憩

5． 15:10－15:55　マトリックスコンバータにおける高調波およびEMIの対策 電気　正太（電気大学）

6． 15:55－16:55　マトリックスコンバータの応用および実用化技術 電気　高志（電気事務所）

7． 16:55－17:00　主催者挨拶，閉会

司会進行：電気人司（電気研究所），電気線介（電気大学）

----------------------------------------------------------------------------------------------------

**テキスト：**電気学会技術報告●●号「●●技術動向と応用」をテキストとして使用します。

希望者は，電気学会電子図書館(https://www.bookpark.ne.jp/ieej/)から各自で購入してください。

開催日の10日前の期日をご記入ください。

**参加費：**会員(正員) \6,000-（税込）　非会員(一般) \10,500-（税込）

会員(准・学生員) \3,000-（税込）　非会員(学生) \4,200-（税込）

**申込方法：**電気学会ホームページからのお申込み（締切●月●日）：https://www.iee.jp/blog/forum/

申込フォームの備考欄に，参加方法（現地参加，または，オンライン参加）を入力してください。

会場定員●名，総定員●名に達し次第，締め切らせていただきます。なお，定員を超えた場合には，会員を優先しますので，ご了承願います。（是非この機会に電気学会へのご入会をご検討ください。）

問合せ先：電気興業㈱　電気太郎e-mail: DENKIDA（at）DENKI.co.jp

**参加費支払い方法：**Webからのクレジットカードのみのお支払いとなります。

決済後はWebサイトにて領収書が発行されます。

**主催：**電気学会 産業応用部門 ●●技術委員会（委員長：●● ●●）

電子メール，の受付は，委員会様側にてご担当ください。

（参考資料）

2022年 1月4日

**●産業応用フォーラム開催までの手順等**

* 産業応用フォーラムの開催につきましては「産業応用フォーラム開催の手引き」を必ずご参照頂き，記載の手順に従い準備をお進めください。
* 開催案内の作成にあたっては，このファイルの1ページ目のテンプレートをご使用頂き，産業応用フォーラム担当役員へ原稿(案)をお送りください。
* 参加費および技術報告をテキストに使用する場合のテキスト販売価格の設定につきましては，参考となる記述が「産業応用フォーラム開催の手引き」にございます。そちらをご参照ください。
* 開催案内原稿(案)をお送り頂く際には「目論見書」と「報告掲載希望申請」も必ずご提出ください。
* 「産業応用フォーラム開催の手引き」および「目論見書」と「メールマガジン」のテンプレートを産業応用部門WebページからダウンロードするにはIDとパスワードが必要です。必要な方は，産業応用フォーラム担当役員へお問い合わせください。
* 原稿(案)提出の〆切につきましては，次項を参照ください。

**●ニュースレター原稿（産業応用フォーラム開催案内）の入稿時期**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **発行号** （発行日） | 通常記事の入稿時期 | 飛び込み記事への対応 | |
| **ニュースレター原稿〆** | 原稿(案)受付〆 | 最終原稿〆 |
| **1月号**（1月1日） | **11月1日** | 11月8日 | 11月15日 |
| **2月号**（2月1日） | **12月1日** | 12月3日 | 12月10日 |
| **3月号**（3月1日） | **1月1日** | 1月8日 | 1月15日 |
| **4月号**（4月1日） | **2月1日** | 2月8日 | 2月15日 |
| **5月号**（5月1日） | **3月1日** | 3月8日 | 3月15日 |
| **6月号**（6月1日） | **4月1日** | 4月3日 | 4月10日 |
| **7月号**（7月1日） | **5月1日** | 5月8日 | 5月15日 |
| **8月号**（8月1日） | **6月1日** | 6月8日 | 6月15日 |
| **9月号**（9月1日） | **7月1日** | 7月3日 | 7月10日 |
| **10月号**（10月1日） | **8月1日** | 8月3日 | 8月10日 |
| **11月号**（11月1日） | **9月1日** | 9月8日 | 9月15日 |
| **12月号**（12月1日） | **10月1日** | 10月8日 | 10月15日 |

**注意**： ニュースレター発行日と産業応用フォーラム開催日の関係で、ニュースレターへの掲載を急ぐ場合に限り、飛び込み記事として最終原稿の〆切日を上表のように若干延長する。その場合、原稿(案)受付〆切日までに、産業応用フォーラム担当役員へ原稿(案)を必ず提出すること。

なお、該当月の休日の関係やニュースレター担当の出張等の都合により、飛び込み記事の最終原稿〆切日を若干早めることがある。その場合は、ニュースレター担当から飛び込み記事担当者に〆切日を事前に連絡する。